

2018年度上半期 業績の概要

2018年11月22日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

目次

1 グループ概況

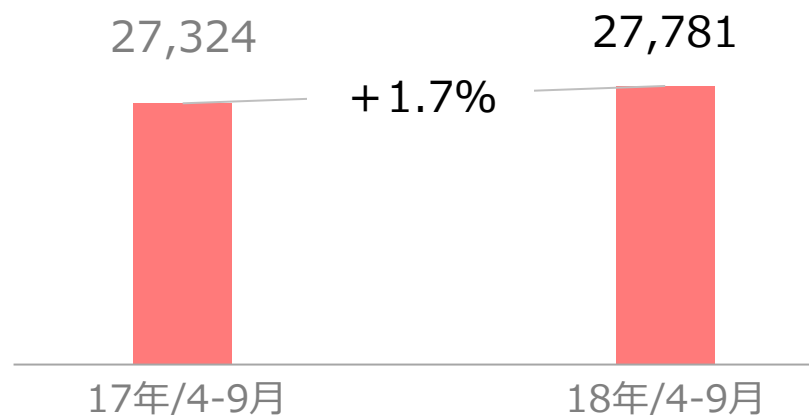
2 国内生命保険事業

3 業績見通し

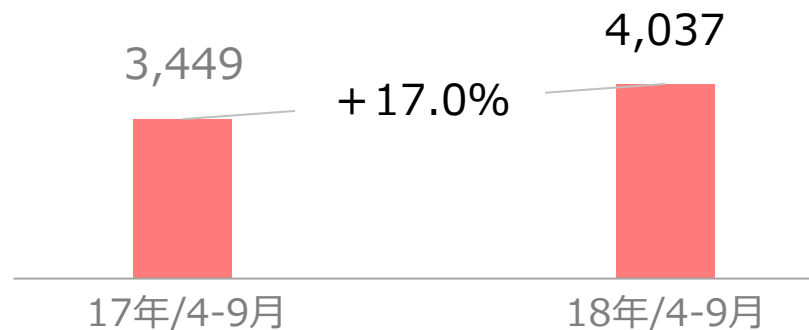
【参考】グループ各社の概況

- 2018年度上半期決算の連結業績は前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、マスマチュアル生命の新規連結に加え、商品相互供給を通じた日本生命グループを挙げての保険販売により増加。
- 基礎利益は、利差益の増加を主因に増加となった。
マスマチュアル生命の連結反映、MLC Limited（以下MLC）の増益により増益幅が拡大。

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益

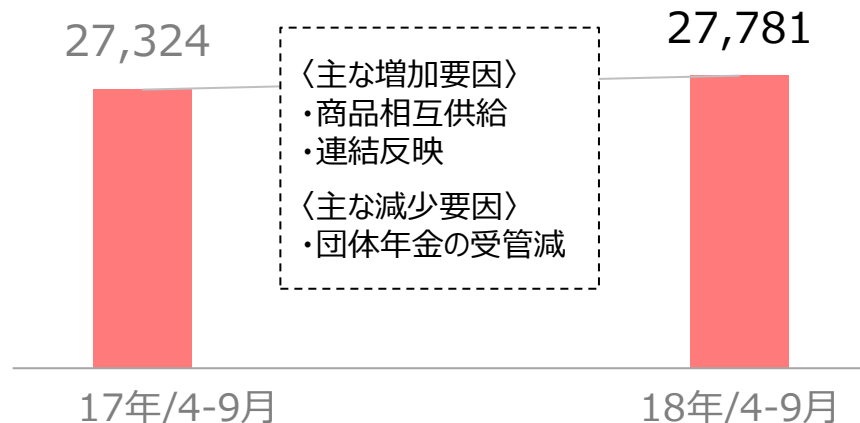


※ マスマチュアル生命を2018年度第1四半期より連結反映（以降同様）

- 団体年金領域は減少したものの、個人保険・個人年金保険領域の増加を主因に増収。
- 個人保険・個人年金保険については、商品相互供給を通じた日本生命グループを挙げた保険販売への取組、マスマチュアル生命の連結反映を主因に増収を確保。
- 団体年金については、厚生年金基金の解散等の減少に伴う受管資産が減少したことを主因に減収。

保険料等収入

(単位：億円)



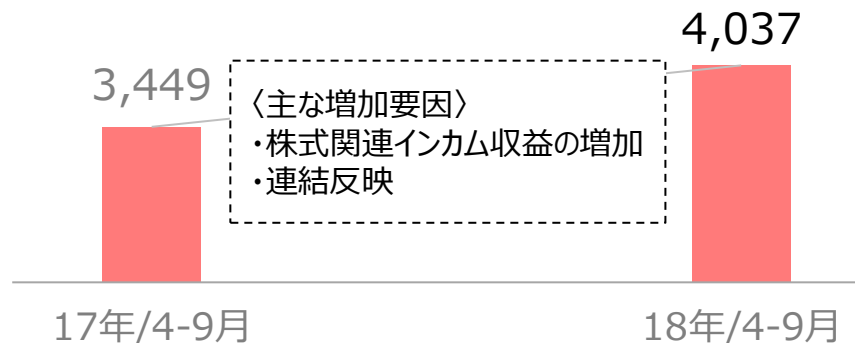
	2018年 4-9月	前年同期比
保険料等収入	27,781	+1.7%
日本生命	21,853	▲6.4%
三井生命	3,462	+23.8%
マスマチュアル生命	1,290	-
MLC	988	▲1.3%

※ 合計値は連結保険料等収入
(日本生命、三井生命、マスマチュアル生命、MLC、米国日生を対象に算出)

- 利差益の増加を主因として増益。
- 利差益は、国内株式の配当金や、外国株式を中心とした投信分配金の増加等を主因に増加。
- さらに、MLCの増益やマスミュージアル生命の連結反映により増加額が拡大。

(単位：億円)

基礎利益

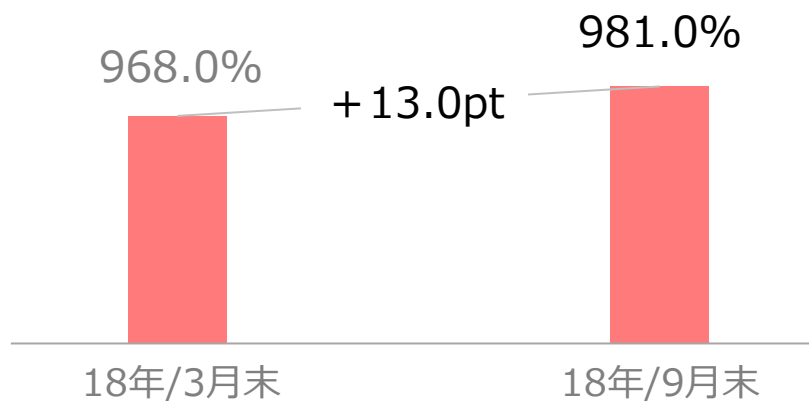


	2018年 4-9月	前年同期比
基礎利益	4,037	+17.0%
利差益	1,272	+59.8%
保険関係損益	2,734	+3.4%
日本生命	3,626	+14.1%
三井生命	247	▲5.7%
マスミュージアル生命	132	-
MLC	50	+93.3%

※ 合計値は日本生命の基礎利益、三井生命の基礎利益、マスミュージアル生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、一部の内部取引調整等を行い算出
 ※ 利差益、保険関係損益は国内生保の合計

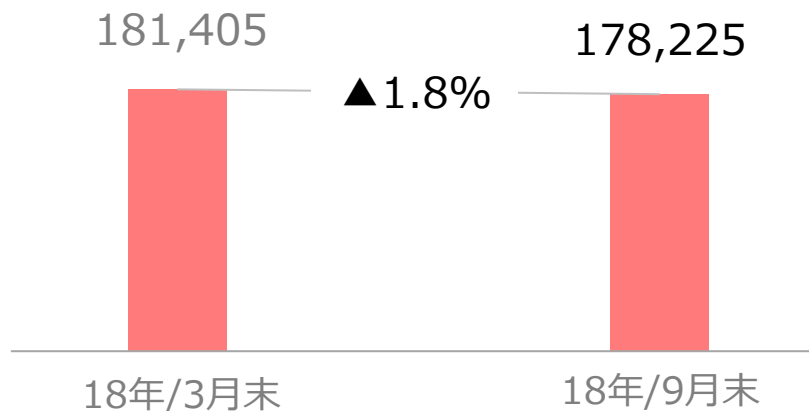
- ソルベンシー・マージン比率は、諸準備金等の積増や、劣後ローン調達を通じた自己資本積増により、前年度末から増加。
- 実質純資産は、金利上昇に伴う債券の含み益の減少を主因に、前年度末から減少。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



損益計算書

- 利差益の増加により、基礎利益や経常利益、中間純剰余は前年同期比で増加。

(単位：億円)

	2018年 4-9月	前年同期比
経常収益	40,099	+4.4%
保険料等収入	27,781	+1.7%
資産運用収益	10,908	+11.3%
経常費用	37,423	+4.0%
保険金等支払金	21,922	+2.6%
資産運用費用	2,480	+36.4%
事業費	4,021	+2.7%
経常利益	2,675	+9.3%
(基礎利益)	4,037	+17.0%
中間純剰余(利益)	1,414	+19.3%

貸借対照表

- 総資産は、マスマチュアル生命の新規連結を主因に前年度末から増加。

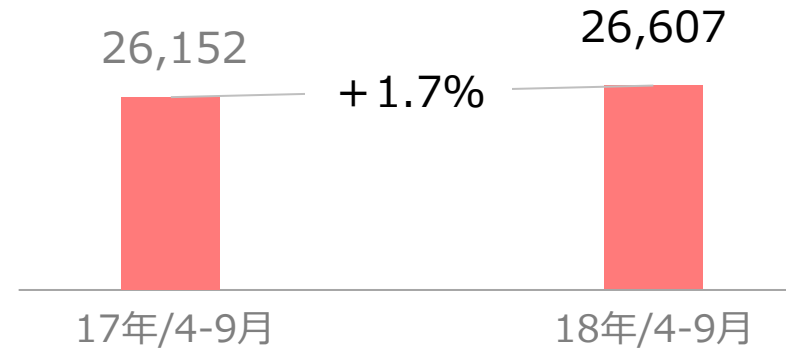
(単位：億円)

	2018年 9月末	前年度末比
総資産	784,885	+5.5%
うち有価証券	641,967	+6.8%
うち貸付金	85,884	▲0.5%
うち有形固定資産	18,578	+0.0%
負債	716,907	+6.3%
うち保険契約準備金	647,146	+5.2%
うち責任準備金	632,089	+5.1%
うち価格変動準備金	14,679	+9.1%
純資産	67,978	▲1.8%

- 国内の保険料等収入について、個人保険・個人年金保険の増加を主因に増加。
- チャンネル別では、日本生命における三井生命の一時払外貨建保険の販売が増加したことから、営業職員等チャンネルは増加。銀行窓販チャンネルは、マスマチュアル生命の連結反映により増加。
- 団体保険は減少し、団体年金保険についても、厚生年金基金の解散等の減少に伴う受管減少を主因に減少。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2018年 4-9月	前年 同期比
保険料等収入（国内計）	26,607	+ 1.7%
うち個人保険・個人年金保険	18,405	+ 7.1%
営業職員等チャンネル	16,425	+ 2.8%
銀行窓販チャンネル	1,979	+ 62.3%
うち団体保険	1,508	▲ 2.2%
うち団体年金保険	6,358	▲ 10.4%

※ 日本生命、三井生命、マスマチュアル生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の新契約は、経営者向け保険の販売減少による影響はあったものの、2018年4月から販売開始した日本生命の新商品「ニッセイみらいのかたち 特定重度疾病保障保険“^{じょう}だい杖ぶ”」の販売が好調であったことに加え、マスマチュアル生命の連結反映等を主因に増加。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2018年 4-9月	前年 同期比	2018年 4-9月	前年 同期比	2018年 4-9月	前年 同期比
国内計	2,104	+17.6%	263	+35.8%	46,588	+21.5%
営業職員等チャネル	1,398	▲16.2%	259	+36.2%	43,744	+19.7%
銀行窓販チャネル	705	+483.1%	3	+12.8%	2,844	+59.9%
日本生命	1,243	▲22.2%	250	+36.9%	39,459	+16.6%
三井生命	228	+20.5%	11	+8.0%	5,303	+18.0%
マスマチュアル生命	631	-	1	-	1,826	-

※ 国内計・チャネル別内訳は、日本生命、三井生命、マスマチュアル生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は増加。
- 団体保険・団体年金保険についても、順調に推移。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2018年 9月末	前年度末比	2018年 9月末	前年度末比	2018年 9月末	前年度末比
国内計	44,490	+6.6%	3,386	+3.7%	1,834,016	+0.8%
日本生命	36,807	+0.4%	3,097	+3.0%	1,603,686	▲0.8%
三井生命	5,108	+0.8%	257	+0.3%	198,562	▲1.4%
マスマチュアル生命	2,574	-	31	-	31,767	-

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2018年 9月末	前年度末比	2018年 9月末	前年度末比
国内計	1,096,389	+0.8%	167,458	+2.2%
日本生命	971,030	+1.7%	130,741	+1.7%
三井生命	125,358	▲5.4%	8,132	▲1.7%

※ 国内計は、日本生命、三井生命、マスマチュアル生命の合計値
 ※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(24,217億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分4,356億円)を含む

- 2018年度はグループ計で、前年度対比増収・増益を見込む。
- 保険料等収入は、日本生命における団体年金の新規受管抑制等の減少要因もあるものの、新商品投入による販売増に加え、マスマチュアル生命の連結反映等を主因に増収を見込む。
- 基礎利益は、超低金利環境による利息減少が想定される一方、成長・新規領域への投融資等の利回り向上取組に加え、株式関連のインカム収益増加等を主因に、増益を見込む。

(単位：億円、百万豪ドル)

	保険料等収入		基礎利益	
	2017年度	2018年度 見込み	2017年度	2018年度 見込み
グループ計	54,220	増加	7,227	増加
日本生命	44,884	減少	6,682	増加
三井生命	6,945	増加	492	減少
マスマチュアル生命	—	増加	—	増加
MLC	1,941	横ばい	76	増加

- ※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、三井生命、マスマチュアル生命、MLC、米国日生を対象に算出）
- ※ 基礎利益のグループ計は、日本生命の基礎利益、三井生命の基礎利益、マスマチュアル生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、一部の内部取引調整等を行い算出
- ※ マスマチュアル生命は連結反映により増加
- ※ MLCは収入保険料と、税引前利益に持分比率を乗じた数値（現地通貨ベース）

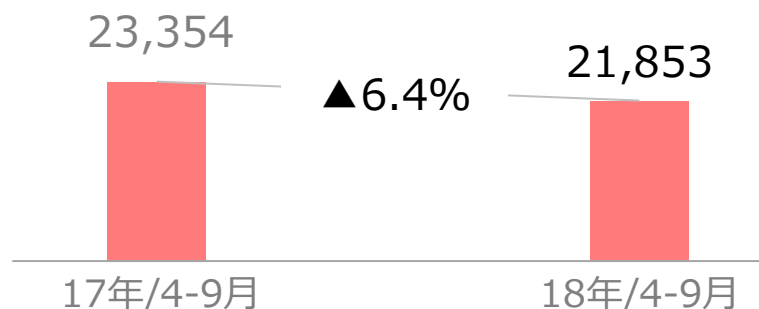
【参考】
グループ各社の概況

【参考】日本生命（単体）：収支

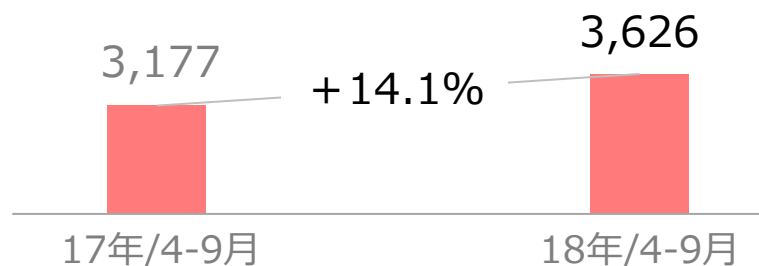
（単位：億円）

- 日本生命単体は前年同期比で減収・増益。
- 保険料等収入は、2018年4月に発売した新商品「だい杖ぶ」の販売は好調であったものの、厚生年金基金の解散等に伴う受管減少による団体年金の減少を主因に減少。
- 基礎利益は、株式関連の配当金・投信分配金の増加による利差益拡大を主因に増加。

保険料等収入



基礎利益



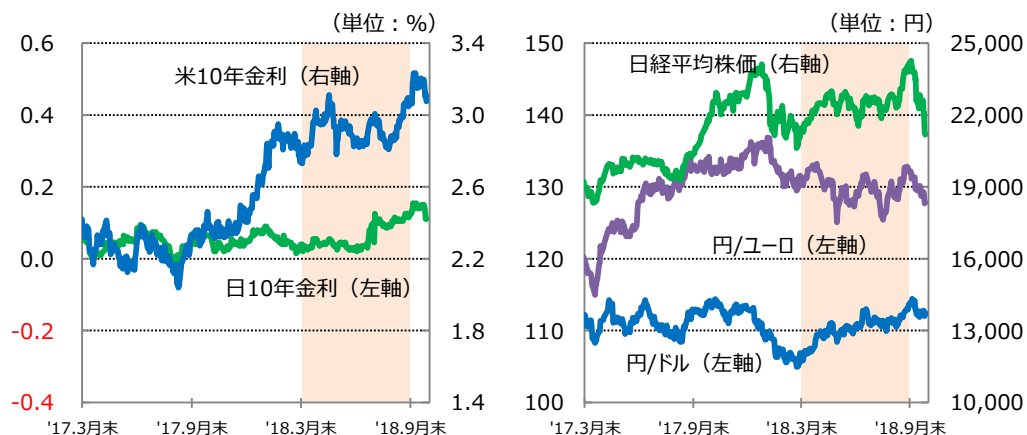
	2018年 4-9月	前年同期比
基礎利益	3,626	+14.1%
利差益	1,274	+36.9%
費差益	201	+241.1%
危険差益	2,150	▲1.7%

資産運用収支（一般勘定） （単位：億円）

- 資産運用収支は前年同期より増加。
- 資産運用収益は、内外株式の売却益が増加したことや、株式関連の配当金・投信分配金が増加したこと等を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損や金融派生商品費用が増加したこと等を主因に増加。

	2018年 4-9月	前年同期 との差異
資産運用収益	8,592	+ 746
うち利息及び配当金等収入	7,237	+ 239
うち有価証券売却益	1,234	+ 415
資産運用費用	1,765	+ 720
うち有価証券売却損	661	+ 337
うち有価証券評価損	43	+ 42
うち金融派生商品費用	530	+ 255
資産運用収支	6,827	+ 26

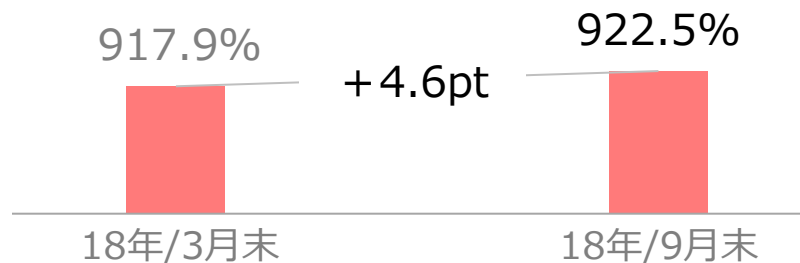
マーケット状況



【参考】日本生命（単体）：健全性

- 劣後ローンの調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の着実な積増等によって、自己資本及びソルベンシー・マージン比率は前年度末比で増加。
- 有価証券の含み損益については、株価の上昇と円安ドル高等により国内株式と外国証券の含み益が増加したものの、国内金利の上昇を受けて国内債券の含み益が減少したため、有価証券全体では前年度末比で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

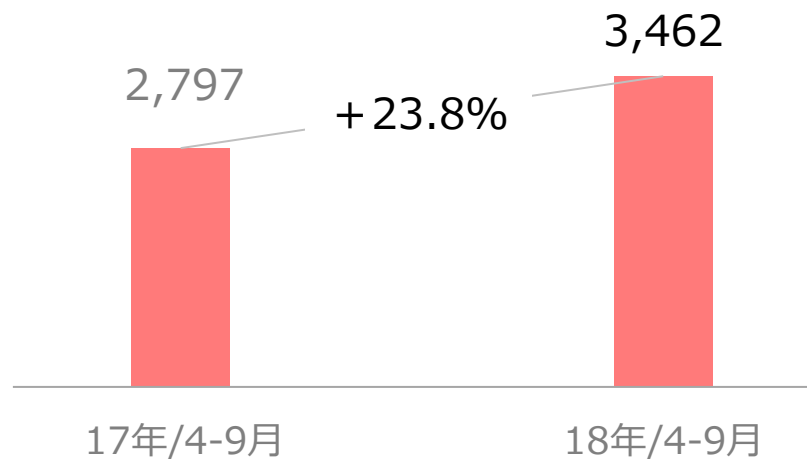
(単位：億円)

	2018年 9月末	前年度末 との差異
時価のある有価証券	101,140	▲ 4,333
公社債	33,704	▲ 5,130
国内株式	48,752	+ 759
外国証券	17,153	+ 498
その他	1,529	▲ 459

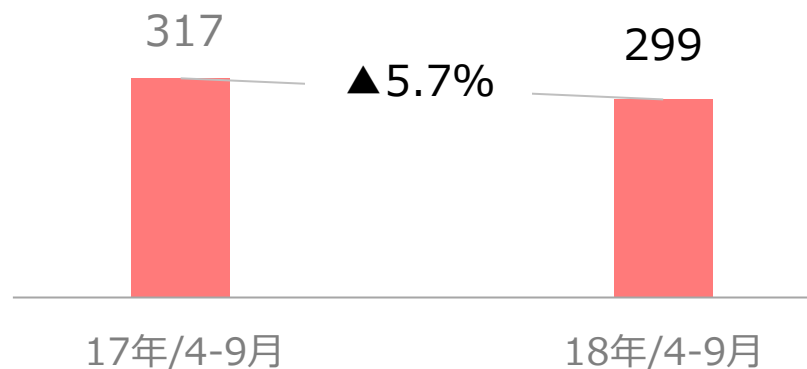
(単位：億円)

- 三井生命は前年同期比で増収・減益。
- 保険料等収入は、2017年10月より開始した日本生命への一時払外貨建養老保険「ドリームロード」の供給が奏功したこと等を主因に増加。
- 基礎利益は、逆ざや額は引続き改善したものの、過去に販売した変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金戻入の減少等により減少。

保険料等収入



基礎利益

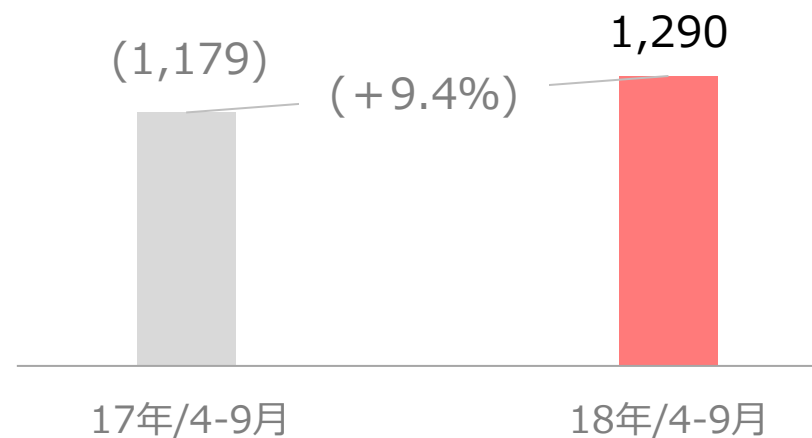


※ 単体の数値を記載

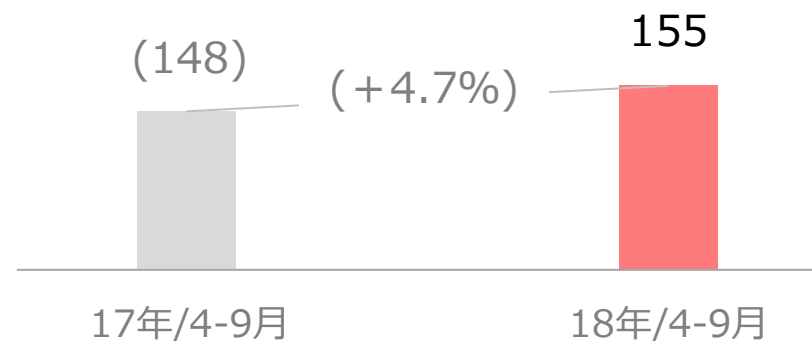
(単位：億円)

- マスマチュアル生命は前年同期比で増収・増益。
- 保険料等収入は、米ドル金利上昇によって米ドル建商品の魅力が向上したことで、主力商品の定額年金や生存給付金付終身保険の販売が好調となったことを主因に増加。
- 基礎利益は、良好な金融市場環境を背景とした利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。

保険料等収入



基礎利益



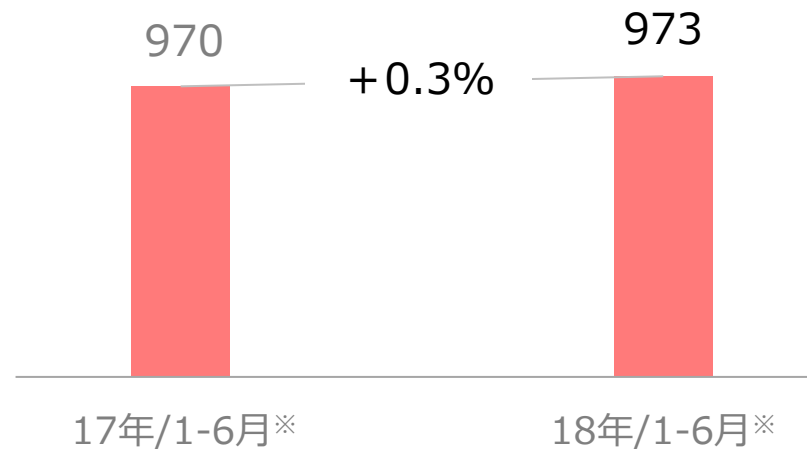
※ 単体の数値を記載

※ 2018年度から連結反映を行ったため、前年同期の値および増加率は()にて記載

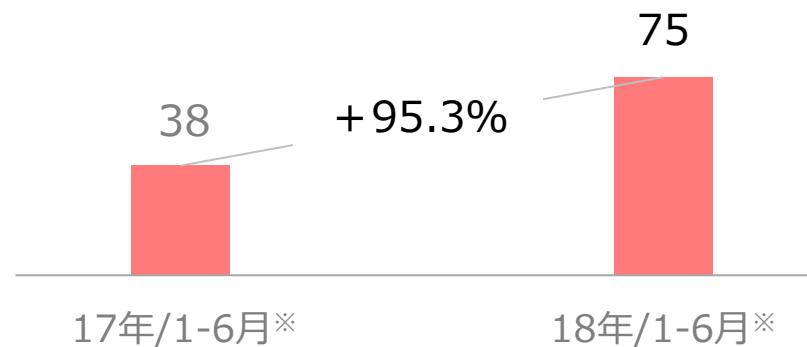
(単位：百万豪ドル)

- MLCは前年同期比で増収・増益。
- 規制変更や競争環境が厳しさを増す中、収入保険料は前年同期並みの水準を確保。
- 超長期金利低下による影響を受けたものの、保険金支払いが前年を下回ったこと等により税引前利益は増加。

収入保険料



税引前利益



※ 単体の数値を記載

※ 上半期決算では1-6月期を連結反映